

## 2020年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年9月5日

上場会社名 株式会社 ラクーンホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 3031 URL http://www.raccoon.ne.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小方 功  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 今野 智 TEL 03-5652-1711  
 四半期報告書提出予定日 2019年9月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

### 1. 2020年4月期第1四半期の連結業績(2019年5月1日～2019年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期第1四半期	818	22.3	211	38.6	175	31.9	175	31.4	111	23.9
2019年4月期第1四半期	669	9.3	152	21.5	133	25.7	133	27.7	90	30.3

(注) 包括利益 2020年4月期第1四半期 111百万円(23.9%) 2019年4月期第1四半期 90百万円(30.3%)

(注) EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額(+持分法による投資利益)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年4月期第1四半期	6.01	5.96
2019年4月期第1四半期	5.05	4.97

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年4月期第1四半期	8,371	2,699	32.1	144.79
2019年4月期	8,848	2,697	30.4	144.86

(参考) 自己資本 2020年4月期第1四半期 2,690百万円 2019年4月期 2,689百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年4月期	—	0.00	—	6.00	6.00
2020年4月期	—	—	—	—	—
2020年4月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 現時点において、2020年4月期末の配当予想は未定であります。

### 3. 2020年4月期の連結業績予想(2019年5月1日～2020年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	3,450	15.8	810	24.3	670	22.1	670	22.8	425	12.0	22.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年4月期1Q	19,046,700株	2019年4月期	19,024,200株
② 期末自己株式数	2020年4月期1Q	460,657株	2019年4月期	460,657株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年4月期1Q	18,579,244株	2019年4月期1Q	17,834,327株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はT D n e tで近日中に開示いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年5月1日～2019年7月31日)における我が国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善等を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、世界経済に悪影響を与える米中貿易摩擦の長期化や日韓の政治・貿易問題など不透明な材料が多く先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは「企業活動を効率化し便利にする」を経営理念に掲げ、各企業間取引のインフラサービス事業の事業規模拡大に努めてまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は818,113千円(前年同期比22.3%増)となりました。

費用面におきましては、今期、広告投資を積み増しする方針であり、これにより広告宣伝費が増加しております。また、前期に実施したALEMO株式会社の株式取得による影響により、のれん償却費が増加いたしました。この他、自社ビル取得に伴い減価償却費が増加いたしました。また、地代家賃が大幅に削減されております。この結果、販売費及び一般管理費は前年同期比19.5%増となり、EBITDA 211,610千円(前年同期比38.6%増)、営業利益175,775千円(前年同期比31.9%増)、経常利益175,241千円(前年同期比31.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益111,590千円(前年同期比23.9%増)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### ①EC事業

EC事業の主力事業である「スーパーデリバリー」は、会員数の獲得増加と客単価向上により流通額を増加させていくことに取り組んでおります。第1四半期連結会計期間におきましては、2019年5月より、SD exportにおいて日本国内のメーカーが海外バイヤーと無料でマッチングできる新プラン「カタログプラン」を開始いたしました。「カタログプラン」の開始に伴い、これまで実施してこなかった出展企業向けの広告を行い出展企業の獲得強化を図っております。これに加え、株式会社アドウェイズと包括業務提携を行い、中国の主要なBtoC向けECモールにて商品販売を行うスキームを構築しました。また、2019年7月より国内の店舗での飲食提供を目的とした事業者を対象にワインやウイスキー、スピリッツ、各種リキュールなどの洋酒の取り扱いを開始しました。

当第1四半期連結累計期間の流通額につきましては、国内流通額は小売業に対する流通額が前第4四半期連結会計期間につき前年同期比プラス成長となったことと、小売業以外の事業者に対する流通額が引き続き増加したことにより前年同期比5.6%増となりました。海外流通額(SD exportと日本語版サイトでの海外向け流通額の合算)は前年同期比31.5%増と順調に増加しました。この結果、「スーパーデリバリー」全体の流通額は2,927,620千円(前年同期比9.5%増)となりました。

なお、当第1四半期連結会計期間末における「スーパーデリバリー」の会員数は136,409店舗(前期末比9,247店舗増)、出展企業数は1,442社(前期末比23社増)、商材掲載数は901,906点(前期末比26,963点増)となりました。

この結果、EC事業の売上高は455,214千円(前年同期比7.1%増)、セグメント利益は186,422千円(前年同期比11.4%増)となりました。

#### ②フィナンシャル事業

「Paid」におきましては、加盟企業数は順調に増加し3,400社を超えました。引き続き、獲得した加盟企業の稼働率の向上と売上企業単価を増加させることに取り組んでおり、グループ外の取扱高は4,549,949千円(前年同期比26.8%増)、全体の取扱高(グループ内の取扱高1,670,517千円を含む)は、6,220,467千円(前年同期比19.0%増)となりました。

保証におきましては、「T&G売掛保証」、「URIHO」では引き続き、地域金融機関との業務提携を進め、販売チャネルを拡大することに加え、より効率のよい広告媒体を模索しながら知名度向上にも取り組んでおります。また、家賃保証サービスにつきましては、事業用家賃保証、居住用家賃保証ともに不動産会社に対する知名度向上に取り組まれました。当第1四半期連結会計期間末の保証残高は、65,333,321千円(株式会社ラクーンフィナンシャル分22,030,599千円、ALEMO株式会社分43,302,721千円)と前期末比3.8%増になりました。

この結果、フィナンシャル事業の売上高は406,380千円(前年同期比41.8%増)、セグメント利益は73,979千円(前年同期比97.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は8,371,623千円となり、前連結会計年度末より476,437千円減少いたしました。流動資産は6,054,532千円となり、438,704千円減少いたしました。減少の主な要因は、収納代行会社による代金の入金が月末内となった影響により売掛金が443,858千円減少したことによるものです。固定資産は2,317,090千円となり、37,733千円減少いたしました。減少の主な要因は、繰延税金資産が23,929千円減少したこと及び、のれんの償却費用10,625千円の計上などによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は5,672,219千円となり、前連結会計年度末より478,198千円減少いたしました。流動負債は4,325,992千円となり、403,852千円減少いたしました。減少の主な要因は、買掛金が562,336千円増加した一方で、短期借入金が返済により700,000千円減少したこと及び、法人税の支払により未払法人税等が198,182千円減少したことによるものです。固定負債は1,346,226千円となり、74,346千円減少いたしました。減少の主な要因は長期借入金が1年内返済予定の長期借入金への振替により52,916千円減少したこと及び、預り保証金が21,000千円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は2,699,404千円となり、前連結会計年度末より1,761千円増加いたしました。増加の主な要因は、配当の支払により利益剰余金が111,381千円減少した一方で、新株予約権の行使により資本金と資本剰余金が合計で1,570千円、親会社株主に帰属する四半期純利益111,590千円の計上により利益剰余金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては概ね予定通りに推移しており、現時点においては前回公表時より変更はありません。

上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,329,734	2,377,549
売掛金	3,965,484	3,521,625
求償債権	33,041	41,103
貯蔵品	114	133
前払費用	163,563	147,791
その他	173,589	160,849
貸倒引当金	△172,291	△194,520
流動資産合計	6,493,237	6,054,532
固定資産		
有形固定資産		
建物	615,881	615,881
減価償却累計額	△16,784	△22,915
建物(純額)	599,097	592,966
車両運搬具	3,537	3,537
減価償却累計額	△3,537	△3,537
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	47,358	47,177
減価償却累計額	△39,101	△39,898
工具、器具及び備品(純額)	8,257	7,278
土地	877,903	877,903
有形固定資産合計	1,485,258	1,478,148
無形固定資産		
ソフトウェア	172,109	184,951
ソフトウェア仮勘定	24,099	14,709
のれん	324,080	313,455
その他	2,487	2,395
無形固定資産合計	522,777	515,512
投資その他の資産		
投資有価証券	120,362	120,362
敷金及び保証金	12,337	12,909
繰延税金資産	204,036	180,106
その他	10,051	10,051
投資その他の資産合計	346,787	323,429
固定資産合計	2,354,823	2,317,090
資産合計	8,848,060	8,371,623

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,961,539	3,523,875
短期借入金	700,000	—
1年内返済予定の長期借入金	211,664	211,664
未払金	73,473	72,175
未払法人税等	244,084	45,901
保証履行引当金	83,472	75,335
賞与引当金	51,498	26,509
販売促進引当金	7,910	8,840
預り金	17,543	18,072
その他	378,660	343,618
流動負債合計	4,729,845	4,325,992
固定負債		
長期借入金	1,363,338	1,310,422
資産除去債務	3,673	3,675
その他	53,561	32,129
固定負債合計	1,420,572	1,346,226
負債合計	6,150,418	5,672,219
純資産の部		
株主資本		
資本金	846,224	847,009
資本剰余金	362,906	363,691
利益剰余金	1,612,425	1,612,634
自己株式	△132,348	△132,348
株主資本合計	2,689,206	2,690,986
新株予約権	8,435	8,418
純資産合計	2,697,642	2,699,404
負債純資産合計	8,848,060	8,371,623

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年7月31日)
売上高	669,023	818,113
売上原価	120,781	146,354
売上総利益	548,242	671,758
販売費及び一般管理費	414,967	495,983
営業利益	133,274	175,775
営業外収益		
受取手数料	741	675
その他	841	662
営業外収益合計	1,582	1,338
営業外費用		
支払利息	119	943
債権流動化費用	1,295	—
支払手数料	—	722
その他	56	206
営業外費用合計	1,471	1,872
経常利益	133,385	175,241
税金等調整前四半期純利益	133,385	175,241
法人税等	43,303	63,651
四半期純利益	90,081	111,590
親会社株主に帰属する四半期純利益	90,081	111,590



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年5月1日 至 2018年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年5月1日 至 2019年7月31日)
四半期純利益	90,081	111,590
四半期包括利益	90,081	111,590
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	90,081	111,590

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度の適用)

当社及び連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から連結納税制度を適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年5月1日 至 2018年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	EC事業	フィナンシャル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	425,150	243,873	669,023	—	669,023
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	42,624	42,624	△42,624	—
計	425,150	286,497	711,647	△42,624	669,023
セグメント利益	167,308	37,533	204,842	△71,567	133,274

- (注) 1. セグメント利益の調整額△71,567千円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。なお、全社収益は、主に各事業セグメントからの経営指導料等であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項  
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年5月1日 至 2019年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	EC事業	フィナンシャル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	455,214	362,899	818,113	—	818,113
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	43,481	43,481	△43,481	—
計	455,214	406,380	861,594	△43,481	818,113
セグメント利益	186,422	73,979	260,402	△84,626	175,775

- (注) 1. セグメント利益の調整額△84,626千円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。なお、全社収益は、主に各事業セグメントからの経営指導料等であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項  
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。